

遠隔地の生体情報モニタリングシステム

医療費抑制のため、病院での在院日数を減らし、自宅や施設へ患者を帰す国の指導が行われている。

業種

医療機関

活用分野

院外患者の病状把握

テクノロジー

iPad、VPN

しかし患者の急激な病状変化を考えると家族の負担も重い。そこで、さくら総合病院では、遠隔地の患者の生体情報をモニタリングし、状況把握や緊急時の連絡システムを確立した。

同病院の生体情報モニタ(現在20台)を患者宅に設置。生体情報をモバイルでサーバに送り、ブラウザ経由で情報を確認する仕組みだ。心電図、プレシスモグラフの波形表示ができる。異常を感知した場合は担当者の携帯電話へのアラートも

発信されるので、見落としがなくなる。

通信には、VPN技術を用いてセキュリティを確保。また、VPNにて接続端末を制限することにより、病院所有のiPad等のモバイル端末でも確認可能とした。



システム機能の一つである
波形画面表示

医療法人 医仁会「さくら総合病院」
<http://www.ijinkai.or.jp/>

本社所在地

愛知県丹羽郡大口町新宮
1-129

事業内容

地域の一般医療(1次・2次)を中心に急性疾患を扱う。病床390床